



CASBEE横浜2017年版v.1.1
 プラウド日吉クロス

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.1

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
		Q 建築物の環境品質								
Q1 室内環境										3.8
1 音環境				4.5	0.15	3.6	1.00			3.7
1.1 騒音				4.0	0.50	3.0	0.50			-
1.2 遮音				5.0	0.50	4.3	0.50			-
1		開口部遮音性能		5.0	1.00	5.0	0.30			-
2		界壁遮音性能		-	-	4.0	0.30			-
3		界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	4.0	0.20			-
4		界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	4.0	0.20			-
1.3 吸音				-	-	-	-			-
2 温熱環境				3.0	0.35	4.0	1.00			3.8
2.1 室温制御				3.0	0.50	4.0	1.00			-
1		室温		快適・働きやすさ		⑨温熱環境	-			-
2		外皮性能		快適・働きやすさ	健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能	4.0	1.00		-
3		ゾーン別制御性		快適・働きやすさ		⑨温熱環境	-			-
2.2 湿度制御				快適・働きやすさ		⑨温熱環境	-			-
2.3 空調方式				快適・働きやすさ		⑨温熱環境	-			-
3 光・視環境				3.3	0.25	4.0	1.00			3.9
3.1 昼光利用				4.2	0.30	4.0	0.50			-
1		昼光率		快適・働きやすさ		⑩光環境	5.0	0.50		-
2		方位別開口		快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	0.30		-
3		昼光利用設備		快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	0.20		-
3.2 グレア対策				3.0	0.30	4.0	0.50			-
1		昼光制御		快適・働きやすさ		⑩光環境	4.0	1.00		-
3.3 照度				快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	0.15		-
3.4 照明制御				快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	0.25		-
4 空気環境				3.6	0.25	3.7	1.00			3.7
4.1 発生源対策				4.0	0.60	4.0	0.63			-
1		化学汚染物質		快適・働きやすさ		⑪空気環境	4.0	1.00		-
4.2 換気				3.0	0.40	3.3	0.38			-
1		換気量		快適・働きやすさ		⑪空気環境	3.0	0.33		-
2		自然換気性能		快適・働きやすさ		⑪空気環境	4.0	0.33		-
3		取り入れ外気への配慮		快適・働きやすさ		⑪空気環境	3.0	0.33		-
4.3 運用管理				-	-	-	-			-
1		CO ₂ の監視		快適・働きやすさ		⑪空気環境	-	-		-
2		喫煙の制御		快適・働きやすさ		⑪空気環境	-	-		-
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-			3.4
1 機能性				3.1	0.40	4.2	1.00			4.0
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	5.0	0.60			-
1		広さ・収納性		快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-		-
2		高度情報通信設備対応		快適・働きやすさ		⑫機能性	5.0	1.00		-
3		バリアフリー計画		快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-		-
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30	3.0	0.40			-
1		広さ感・景観		快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.50		-
2		リフレッシュスペース		快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-		-
3		内装計画		快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.50		-
1.3 維持管理				3.5	0.30	-	-			-
1		維持管理に配慮した設計		快適・働きやすさ		⑫機能性	4.0	0.50		-
2		維持管理用機能の確保		快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.50		-
2 耐用性・信頼性				3.1	0.30	-	-			3.1
2.1 耐震・免震				3.0	0.50	-	-			-
1		耐震性		防災		⑬耐震・免震	3.0	0.80		-
2		免震・制振性能		防災		⑬耐震・免震	3.0	0.20		-
2.2 部品・部材の耐用年数				3.6	0.30	-	-			-
1		躯体材料の耐用年数		防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20		-
2		外壁仕上げ材の補修必要間隔		防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20		-
3		主要内装仕上げ材の更新必要間隔		防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10		-
4		空調換気ダクトの更新必要間隔		防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10		-
5		空調・給排水配管の更新必要間隔		防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20		-
6		主要設備機器の更新必要間隔		防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20		-
2.4 信頼性				3.0	0.20	-	-			-
1		空調・換気設備		防災		⑰信頼性	3.0	0.20		-
2		給排水・衛生設備		防災		⑰信頼性	2.0	0.20		-
3		電気設備		防災		⑰信頼性	3.0	0.20		-
4		機械・配管支持方法		防災		⑰信頼性	4.0	0.20		-
5		通信・情報設備		防災		⑰信頼性	3.0	0.20		-
3 対応性・更新性				3.0	0.30	3.0	1.00			3.0
3.1 空間のゆとり				-	-	3.0	0.50			-
1		階高のゆとり		-	-	3.0	0.60			-
2		空間の形状・自由さ		-	-	3.0	0.40			-
3.2 荷重のゆとり				-	-	3.0	0.50			-
3.3 設備の更新性				3.0	1.00	-	-			-
1		空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-			-
2		給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-			-
3		電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-			-
4		通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-			-
5		設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-			-
6		バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-			-



CASBEE横浜2017年版v.1.1
 プラウド日吉クロス

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.1

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
		Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出	地域・まちづくり	⑩生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	1.0		
2 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0		
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30	-	-	3.0		
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり	⑫地域性への配慮		3.0	0.50	-	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ	⑬敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.7		
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	4.0		
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制		4.0	0.20	-	-	4.0		
2 自然エネルギー利用	省エネルギー性能	②自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0		
3 設備システムの高効率化	省エネルギー性能	③設備システムの高効率化		4.6	0.50	-	-	4.6		
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0		
	集合住宅以外の評価			-	-	-	-	-		
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	-	-	-	-		
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	-	-	-	-		
	集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	-		
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-		
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-		
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.7		
1 水資源保護				3.4	0.20	-	-	3.4		
1.1 節水				4.0	0.40	-	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	-		
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-	-		
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減				3.8	0.60	-	-	3.8		
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.10	-	-	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				5.0	0.20	-	-	-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	0.10	-	-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				5.0	0.20	-	-	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.9	0.20	-	-	3.9		
3.1 有害物質を含まない材料の使用				5.0	0.30	-	-	-		
3.2 フロン・ハロンの回避				3.5	0.70	-	-	-		
1 消火剤				-	-	-	-	-		
2 発泡剤(断熱材等)				4.0	0.50	-	-	-		
3 冷媒				3.0	0.50	-	-	-		
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.4		
1 地球温暖化への配慮				4.2	0.33	-	-	4.2		
2 地域環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0		
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	-		
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-		
1 雨水排水負荷低減				-	-	-	-	-		
2 污水処理負荷抑制				3.0	0.33	-	-	-		
3 交通負荷抑制				4.0	0.33	-	-	-		
4 廃棄物処理負荷抑制				2.0	0.33	-	-	-		
3 周辺環境への配慮				3.2	0.33	-	-	3.2		
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	-		
1 騒音				3.0	1.00	-	-	-		
2 振動				-	-	-	-	-		
3 悪臭				-	-	-	-	-		
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	-		
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	-		
2 砂塵の抑制				3.0	-	-	-	-		
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	-		
3.3 光害の抑制				4.4	0.20	-	-	-		
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				5.0	0.70	-	-	-		
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	-		
上記以外の重点項目					-	-	-	-		
<事務用途>					-	-	-	-		
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組		-	-	-	-	-		
<住宅用途>					-	-	-	-		
健康と安心					-	-	-	-		
1 化学汚染物質の対策	健康・安心	⑥健康対策		5.0	-	-	-	-		
2 適切な換気計画	健康・安心	⑥健康対策		3.0	-	-	-	-		
3 結露・カビ対策	健康・安心	⑥健康対策		3.0	-	-	-	-		
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心	⑦防犯対策		4.0	-	-	-	-		